

## 要 旨

試験委託者

環境省

表 題

パルミチン酸,2-スルホ-,1-メチルエステル,ナトリウム塩のヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する急性  
毒性試験

試験番号

NMMP/E00/4080

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.203「魚類毒性試験」(1992年)に準拠して実施した。

被験物質	: パルミチン酸,2-スルホ-,1-メチルエステル,ナトリウム塩
方式	: 半止水式(24時間換水)
供試生物	: ヒメダカ ( <i>Oryzias latipes</i> )
試験濃度	: 対照区、0.26mg/L、0.48mg/L、0.86mg/L 1.54mg/L、2.78mg/L および5.00mg/L (設定濃度)
曝露期間	: 96 時間
試験液量	: 3.0L
生物数	: 10 尾/濃度区
照明	: 室内光、16 時間明/8 時間暗
エアレーション	: なし
温度	: 24±1℃

結 果

試験の結果、パルミチン酸,2-スルホ-,1-メチルエステル,ナトリウム塩の設定濃度に基づく96時間の半数致死濃度(LC50)は1.50mg/Lであり、その95%信頼区間は1.13~1.99mg/Lであった。